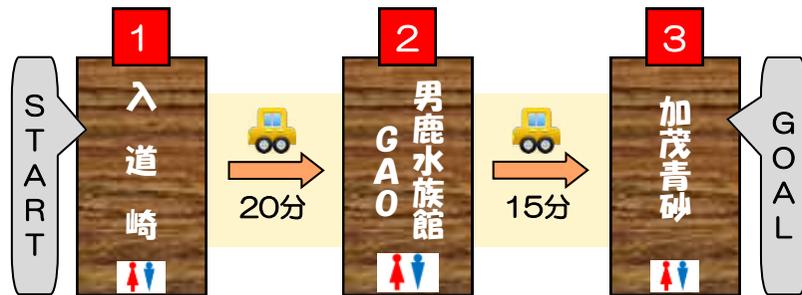


内容 男鹿半島の「大地の物語」を学ぶコース。7,000万年前から始まる大地の物語とは!?



1 入道崎ジオサイト ※食事・土産あり



●鹿落とし:

大地の恵み「石焼料理」の誕生

男鹿半島で、かつて増えすぎた鹿をこの崖から追い落としたことから、その名がついた。この断崖に現れているのは、高温の火山灰などがまだ熱いうちに積み重なって固まった岩石で、男鹿の名物料理である「石焼料理」に使われる。



●鬼の俵ころがし: マグマの通り道岩脈

ピンク色の岩石(花こう岩)の間に茶色の岩石(玄武岩)が一本道のようにのびており、鬼が米俵をころがした跡のように見えるので、こう呼ばれる。

2 男鹿水族館GAOジオサイト ※食事・土産あり



●男鹿水族館前の海岸:

水族館前に広がるマグマの通り道

海岸に広がる平らなあずき色の岩は、約3,000万年前に火山から流れ出た溶岩。その間には灰色の岩石が高くそびえているが、これは岩脈といい、地下深くのマグマが岩石の割れ目に入り込み、その中で冷えて固まったもの。



●男鹿水族館GAO: 男鹿と秋田の海物語

秋田県内唯一の水族館で、男鹿の海大水槽では、40種類2千匹の魚が泳ぎ回る。秋田県魚ハタハタの通年展示やホッキョクグマの「豪太」「クルミ」、ペンギンなど人気者がたくさん。(有料)  
☎0185-32-2221

3 加茂青砂ジオサイト



●カンカネ洞: 神秘の洞窟!

溶岩が波の侵食によってえぐられてできた男鹿半島で最大の高さを誇る洞窟。海、陸、空に穴が開いており、洞窟内は差し込む光と波の音で神秘的。その昔、洞窟の絶壁に鉄の力ギを掛けて上り下りしたことから「カギカケ」と言われ、変化して「カンカネ」と呼ばれるようになった。



●合川南小学校児童地震津波殉難の碑: 日本海中部地震の記憶

昭和58年、能代沖を震源とする日本海中部地震が発生し、加茂青砂の海岸に来ていた合川南小学校児童の内、13名が津波にさらわれて亡くなった。加茂青砂地区の方も救助活動に参加し、碑は今も集落の人たちによって大切に守られている。

コースマップ

(承認番号:平成24年度、第244-30899号)



オフショーン① 乗船体験



●観光遊覧船:

男鹿半島を代表する景勝地である西海岸。海に落ちる滝や奇岩・島々を漁船で真近に見るクルーズであり「海から見るジオパーク」を楽しめる。  
(有料・5月～10月末)

持ち物・注意点

●海岸付近は足元が悪くなっています。見学の際は足元に十分気を付けてください。  
●周辺は自然公園法で守られている国定公園内です。

オフショーン② 温泉 ※食事・土産あり



●男鹿半島リゾート HOTELきららか:

風光明媚な西海岸・桜島に建つ温泉宿。水平線に沈む夕陽は絶景。源泉は名湯「金ヶ崎温泉」で全室から雄大な日本海が望める。  
☎0185-37-2311